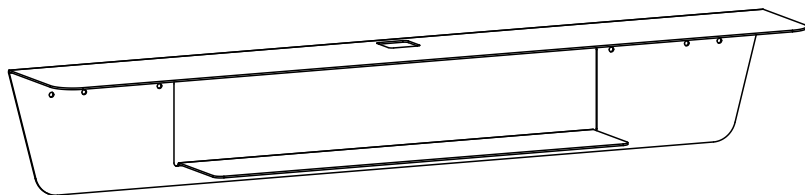



# TV セッターシェルフ SB200



## 設置マニュアル



●設置前にお手元のＡＶ機器機のサイズが合うか、ご確認ください。

対応ＡＶ機器サイズ		最大耐荷重
	<b>設置前に必ず ご確認ください。</b> ■幅 :1,000mm 程度まで [最大 1,016mm] ■奥行 :150mm 程度まで [最大 153mm]	<b>10kg</b> 

この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。

当商品は、ＤＩＹ（日曜大工）が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。

しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。



組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・損害については、  
一切の保証はございませんので、ご了承ください。

- ・安全性を十分に考慮し、設置中に怪我や部屋にキズを付ける事の無いよう注意下さい。
- ・設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- ・取り付け工事は２名以上で行うことを強く推奨いたします。
- ・設置中に少しでも不安を感じた場合は、作業を中断し、お近くの内装業者にご相談ください。

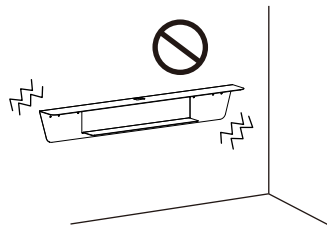
製品に関するお問い合わせ： **0422-38-4912** 受付時間10:00～18:00（土・日・祝除く）

販売元：スタープラチナ株式会社 〒180-0006 東京都武蔵野市中町2-2-2 ジュネス武蔵野5F  
<https://starplatinum.co.jp/>

## 設置にあたって：必ずお読みください



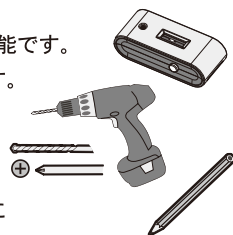
- 必ず耐荷重強度のある壁や壁裏の間柱（スタッド）にしっかりと設置してください。  
無理な設置は商品の落下、大怪我に繋がります。石膏ボード壁のみへの設置はお止めください。
- コンクリートやレンガ壁に設置する場合、専門業者に依頼するようにしてください。
- 電源コードや配線にキズを付ける事の無いように注意ください。火災などの原因になります。
- 設置の際は、接続機器の電源をコンセントから抜くようにしてください。
- 以下の場所には設置をしないでください。
  - ・振動があるような不安定な場所
  - ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
  - ・湿度や温度の高い場所
  - ・通気が悪い場所（エアコンの側、天井のすぐ側等）
  - ・開閉するドアの側
  - ・その他、設置に不適格だと思われる場所



※振動、無理な設置  
出来ればプロの手で


## 設置にあると便利な道具

- 1) 間柱センサー 壁裏にある間柱を見つけるのに便利です。  
細い針（検知針）やキリを壁に刺して代用する事も可能です。
- 2) ドライバー ネジ頭のサイズに合わせて、数種類があると便利です。
- 3) ドリルドライバー 電動ドライバーです。  
壁のネジ穴の下穴を開けるのにも使えます。
- 4) ペン 壁にネジを打ち込む位置をマーキングします。
- 5) メジャー 床からの距離を測ったり、金具の水平を取る時などに  
使用場合があります。
- 6) 柔らかい布 設置の過程で、床などに AV機器を置く事になります。  
下に敷いて保護します。
- 7) 軍手 手を保護します。商品を持つ時は滑らないように素手が良いかもしれません。



## さあ、設置・・・の前に

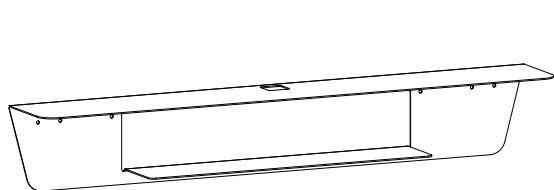
- 設置前にお手元の AV 機器機のサイズが合うか、ご確認ください。

対応 AV 機器サイズ		最大耐荷重
 <b>設置前に必ず ご確認ください。</b>	■幅 :1,000mm 程度まで [ 最大 1,016mm]	<b>10kg</b> 
	■奥行 :150mm 程度まで [ 最大 153mm]	

- 設置に必要なネジ類は付属しています。しかし壁の状態によっては若干短かめのネジがあると作業がし易い場合があります。その時はホームセンター等でご用意下さい。

## 部品リスト一覧

以下のネジが揃っているかをご確認ください。足りない部品がある場合、ご購入店にご連絡下さい。



A シェルフ ×1



B 水平器 ×1



C 壁面ボルト ×2



D コンクリート壁  
アンカー ×2  
(基本的に使用しません)



E ワッシャー ×2

## 支柱の壁への固定



ご注意

### 壁掛けの最重要ステップです。

取り付けは、慎重・確実に作業するようにしてください。  
壁面への取付不備による事故・損害については、一切の保証がありません。  
少しでも不安に感じたら、お近くの内装業者・電設業者に相談してください。

### 最重要ポイント

**壁裏の間柱や強度の強い壁に設置を！石膏ボードのみへのネジ打ちでは強度不足です！**

### ●壁の構造について（必ず耐荷重のある壁への設置を！）

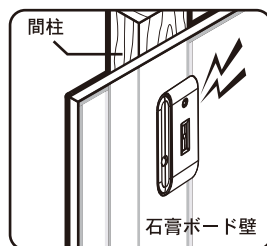
設置は補強のある壁、もしくは壁裏の間柱（スタッド）に行ってください。  
石膏ボード壁の場合、ボードのみの部分にネジ打ちする事の無いよう、十分に注意ください。壁裏の間柱を見つけるにはホームセンター等で売っている壁裏センサー（1500 円程度）やキリを更に細くした検知針が便利です。

### ●間柱を見つけたら

間柱を発見した場合、間柱の「中央」にネジを打つ必要があります。間柱の端にネジを打つと強度が不十分だったり、間柱が割れてしまう事もあるので注意しましょう。詳しくは、センサーや検知針の説明書をご覧ください。

### ●コンクリートやレンガ壁について

コンクリートやレンガ壁への設置は、難易度が高い施工になります。  
お近くの内装業者等の専門業者に依頼してください。個人での設置は絶対に行わないようにしてください。



●一般の石膏ボード壁の場合  
壁裏センサーを使用して間柱を見つけます。キリ等を使う場合、何度が刺して柱の中央を見つけましょう。

## 1) 設置位置の確定

現在の主流である石膏ボード壁の場合、上記を参考に壁裏の間柱（スタッド）を見つけてください。間柱は一般的に 40 ～ 45 センチ幅で設置されている事が多いようです。ご参考ください。  
間柱が確定したら、ネジ穴にマーキングをします。

## 2) ネジ打ち用下穴の開口 → 本止め

壁を横から見た断面図(下)を参考にして、ネジ打ち用の下穴を開けます。電動ドリルがあると便利です。  
壁にキズをつけますので、慎重に作業を行ってください。その後、壁面ボルト[P-A]を使用して本締めしてください。

- 1** センサーやキリ等を使って壁裏の間柱を見つけ、ネジ穴にマーキングします。



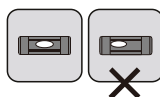
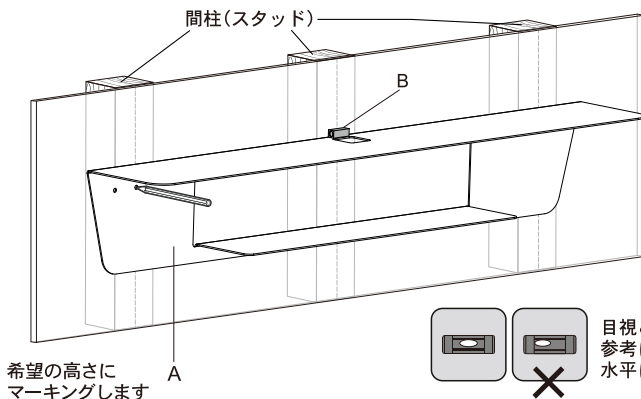
間柱に設置を



あると便利  
壁裏センサー

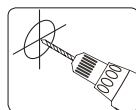
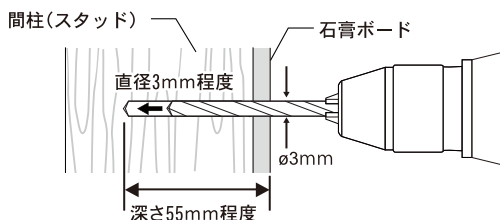


マーキング



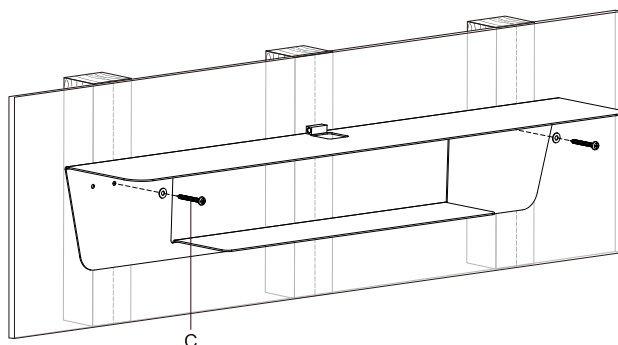
目視&水平器等を  
参考にして  
水平に設置を！

- 2** 壁を横から見た断面図(下)を参考にして、ネジ打ち用の下穴を開けます。電動ドリルがあると便利です。壁にキズをつけますので、慎重に作業を行ってください。



下穴は真っ直ぐに  
開けるよう注意を

- 3** 下図を参考に壁面ボルトを使ってシェルフ[A]を壁にしっかりと打ち付けます。



壁へのネジ打ち



**ご注意**

壁面への取付不備による事故・損害については、一切の保証がありません。  
少しでも不安に感じたら、お近くの内装業者・電設業者にご相談下さい。